

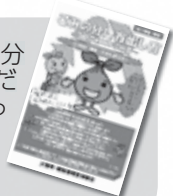
年末年始の「ごみ収集」と「し尿くみ取り」

役場環境保全課 環境保全係 ☎096(293)3113

期 日	ごみ収集	し尿くみ取り	個人での直接持ち込み	
			燃やす・可燃性粗大ごみ 東部清掃工場 ☎096(293)5245	資源物・不燃・埋立・不燃性粗大ごみ 環境美化センター ☎096(293)1222
23日(月)~27(金)	平常どおり	平常どおり	8:30~17:00 平常どおり	
28日(土)・29日(日)	休 み	休 み	8:30~17:00 年末年始特別開放日	
30日(月)	平常どおり	休 み	8:30~17:00 年末年始特別開放日	
31日(火)	平常どおり	休 み	8:30~17:00 年末年始特別開放日	休 み
令和2年1月1日(水)~ 3日(金)	休 み	休 み	休 み	
4日(土)	休 み	休 み	8:30~12:00	休 み
5日(日)	休 み	休 み	休 み	
6日(月)	平常どおり	平常どおり	8:30~17:00 平常どおり	

- ①ごみ収集が休みの期間は、絶対にごみを出さないでください。
- ②年末の「し尿くみ取り」の依頼は、12月25日(水)午後5時までに、(有)日野環境(☎096(293)2156)に連絡してください。
- ③個人で東部清掃工場や環境美化センターに持ち込む場合は、時間に余裕を持ってお願いします。搬入量に応じて処分手数料が必要な場合もあります(地区別ごみカレンダーの最終ページに記載)。
- ④ごみ搬入車両は4トン車以下に限ります。

年末・年始の大掃除に『ごみの分け方出し方』の冊子をご活用ください。50音別での分別表になっています。役場環境保全課の窓口で配布しています。



連載「人権シリーズ」
輝く人権

●問い合わせ

役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920

今回は、菊池郡市同和問題に取り組む企業連絡協議会の会員、(株)池松機工の池松さんに話を聞きました。



(株)池松機工総務課
池松垂矢子さん

人権への取り組みは、CSR(企業の社会的責任)の中核として、ハラスメントの未然防止の意味も含め、企業として取り組むべき必須項目だと認識し活動しています。

菊池地域人権・同和問題教育研修会

11月12日菊池市で開催された「菊池地域人権・同和問題教育研修会」で、企業としての人権への取り組みを報告しました。弊社では、公正採用選考人権・同和問題啓発推進員を設置し、社外研修などにも積極的に参加しています。



第2分散会での報告会の様子

に行っています。役職者研修では、ハラスメントに関する啓発用ビデオ視聴や、グループディスカッションを行います。また、それぞれの能力が発揮される働きやすい職場づくりのため、褒めることの大切さや、不適切な指導事例などを通じ、マネジメントについても学んでいます。

その他の研修も含め、人権研修では参加者同士でコミュニケーションを取る時間を作るよう心掛けています。意見交換をすることで、お互いを理解し合うことの大切さを認識し、仕事においても、信頼関係の構築へとつながるような研修になればとの思いで取り組んでいます。

さまざまな人権課題がありますが、「正しく知り実践すること」そして、「自分」として捉えて人権感覚を磨くこと」を大切に、一人一人の人権と多様性を尊重する会社として、明るい地域社会づくりに貢献できるように、今後も精進していきます。

おおづのしごと vol.3

大阪町企業連絡協議会

サンユー工業株式会社 熊本事業所

「未来にリレーするテクノロジー」

熊本事業所の外観

製造の様子

【企業概要】

- 所在地 菊池郡大津町室1639-2
- 業 種 製造業
- 従業員数 97人(熊本事業所)
- 事業内容 電子部品製造販売業
- 連絡先 ☎096(293)8111
- ホームページ <http://www.sanyu.co.jp>

サンユー工業
検索

代表取締役社長
卯野 寛さん

サンユー工業株式会社熊本事業所は、水と緑に囲まれた、雄大な阿蘇山の麓にある大津町に1986年に設立しました。電子部品を根幹として、エレクトロニクス業界の発展の一翼を担い、お客様の期待に応えるさまざまな製品を提供し続けることで成長してきました。

現在は、電子部品で培ってきた技術力を用いて、半導体や電子部品などの測定検査において総合的に問題を解決するサービスに力を入れて取り組んでいます。

近年、製造業界を取り巻く環境は、かつてないスピードと規模で大きく変化し、多様化しています。新しいことに果敢に挑戦していくことで、未来を切り開けると確信して、大津町の地域社会に貢献していきたいと考えます。



連載「人権シリーズ企画⑩」
きらめく男女

●問い合わせ

役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会
委員 樋口秀一郎さん

私は町のNPOで働いています。NPOとは特定非営利活動法人のことで地域の課題などに取り組み団体です。今年度より、男女共同参画審議会でも活動しています。

職場のNPO法人クラブおおづでは「スポーツを通じての元気なまちづくり」活動を行っています。

今年度はラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権が行われ、来年には東京オリンピックを控えています。スポーツへの関心が高くなっています。一般的に、このような時には良い面ばかりがメディアにも取り上げられがちです。ただ、今までの歴史を見てみると、スポーツ界にも実社会と同様に行き過ぎたナショナリズムやジェンダーの問題が大いに存在しているという現実も忘れてはいけません。

スポーツは、性別・人種・宗教などの障壁を超える力を持っていると言われています。真の意味での人間の「平等」を実現する一つの役割として、スポーツにおける女性の活躍が近年、大いに期待されています。

1900年に行われたオリンピックの第1回大会では997人の参加者の内、女性はわずか22人しかいませんでした。それが、2012年ロンドン大会では、オリンピックの全種目に女性が参加した初めての大会となり、リオ大会では全体の45%を占める4,700人の女性が国を代表して参加するまでになりました。

現在では各種目で日本人女性の活躍が著しいものになってきています。男性主導であった業界に徐々に女性の力が浸透することで、双方に相乗効果を生みます。スポーツが一般社会に対しての良いモデルケースになっていくことを切に願っています。

●ナショナリズム 国家または民族の統一・独立・発展を推し進めることを強調する政治思想や運動。

●ジェンダー 身体的特徴としての性別よりも、社会における心理的・文化的な性別、社会的な役割としての男女のあり方を意味する。

